

新年会長挨拶

一般社団法人東京都学校薬剤師会会長 井上 優美子

新年 おめでとうございます
日頃より（一社）東京都学校薬剤師会の会務にご協力いただき心より御礼申し上げます。
今年度も各支部長、各会員の先生方、賛助会員の方々の御指導、御協力をいただきながら役員一丸となり会務に力を注いでまいり所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
平成27年度の事業は3月で終了し4月からは新年度の活動となります。今年度は薬物乱用防止教室用CD（アキコとフユオ）を作成し全会員の先生方のお手元に届けることが出来ました。薬物乱用の低年齢化に伴い学校より講師の依頼が増えていることと思います。都学薬作成の教材を利用し講義にお役立ていただけたら幸いに存じます。
学校環境衛生委員会が主に行っております給食室の衛生管理（ゴキブリ調査）も8年続けてまいりました。この結果を1月21日、建築物環境衛生管理全国大会・2月14日、学校環境衛生薬事衛生研究協議会（名古屋）で発表させていただきました。
また、学校環境衛生Q&Aも作成し、すべての会員の先生のお手元に届くよう準備しております。「学校薬剤師基礎研修会」も賛助会員各社のご協力により引き続き開催してまいります。直近では2月18日に「ゴキブリの生態と防除について」を行う予定でおります。学校環境衛生基準に変わりは



ありませんが（座高が抜けますが）新しい情報等もありますので会員の先生方のご参加をお待ち致しております。また、離島への学校薬剤師派遣も続けてまいります。平成27年度は利島・小笠原・新島・式根島の4島に小笠原を除き年2回学校環境衛生検査に携わっております。
また、区市町村で地道に活動しておられる学校保健功労者の表彰（叙勲も含む）にも引き続き力を入れてまいりますので、ご推薦いただければ幸いです。今後とも（一社）東京都学校薬剤師会の事業に御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「第14回学校薬剤師基礎研修会」のご案内

日時 平成28年2月18日（木）18時より
場所 区立浜町公園内 総合スポーツセンター第1,2会議室 中央区日本橋浜町2-59-1
最寄り交通機関 都営地下鉄新宿線浜町駅下車 A2出口徒歩2分
東京メトロ日比谷線人形町駅下車 A1出口徒歩8分
東京メトロ半蔵門線水天宮前駅下車 7出口徒歩10分
研修内容 「ゴキブリの生態と防除」について イカリ消毒株式会社 技術研究所課長 富岡康浩様
申し込み締め切り：2月15日（月）までに支部名、お名前、電話番号を明記のうえ
FAX 03-3518-4708にてお申込み下さい

開催行事参加報告

平成 27 年度 学校薬剤師指導者研修会 「ネズミ・衛生害虫等」

亀崎 信明

平成 27 年 10 月 29 日（木）、（一財）東京都学校保健会、東京都教育委員会、及び（一社）東京都学校薬剤師会主催の標記研修会が新宿区文化センターで多数の学校薬剤師が出席して開催されました。司会は井戸理事、当会会長 井上 優美子の挨拶で始まり、講師はイカリ消毒株式会社の田中 和之氏、講演内容は「ねずみ・衛生害虫等」でした。

先ずネズミから、種類はドブネズミ・クマネズミ・ハツカネズミの 3 種を家ネズミ、それ以外は野ネズミと呼ぶこと、家ネズミの生態・サイズ・繁殖・寿命・分布・被害・防除方法等が動画も入れて詳しく説明されました。ドブネズミとクマネズミの見分け方は、クマネズミの特徴としてシッポが胴長より長いこと、建物の上部に巣を作ること、壁面・パイプへの垂直移動の場面はとても珍しいものでした。クマネズミが粘着トラップを飛び越える場面も初めてです、警戒心が強く相当数の粘着トラップを敷き詰めないと捕獲できないことが良く分かりました。

都心ではスーパーラット（遅効性のワルファリンが効かないネズミ）が 70%もいることに驚き、サルモネラ菌による死亡例、レプトスピラ症の集団感染例はネズミの怖さを改めて知ることになりました。

次の衛生害虫等はゴキブリでした、基礎知識として種類・生態・被害・防除方法です。日本で害虫となっている種類は 6 種類、チャバネ、クロ、ヤマト、ワモン、トビイロ、コワモンで、関東に生息するチャバネ、クロ、ワモンについて丁寧に話されました。

ワモンは左右の肩部分に淡黄色の輪紋があること、クロとの見分け方を知りたかったので今後のゴキブリ調査で捕獲した中から探してみます。H19 年から実施している給食室のゴキブリ調査で捕獲されるのはクロばかり、チャバネは 0.03%程度でした、なぜ給食室にチャバネがないのか不思議でしたが、環境（特に温度、クロよりチャバネの方が低温に弱い）によって住み分けている、条件が良ければ同居している、と伺い納得しました。都学薬は「給食室にはゴキブリ 0」を目標にしています。ゴキブリに対する防除は I P M（総合的有

害物質管理）による管理、つまり「経済的被害を生じないレベルに維持する」ことには学薬として抵抗がありました。

28 年 1 月のビル管全国大会で都学薬が考案した「学校給食室におけるクロゴキブリ指数」の発表も控えておりますので興味深くお聞きしました。

質問も多数出て、盛り上がりました。クマネズミの語源はツキノワグマに容姿が似ているから、ハツカネズミは⇒咬まれてもあまり痛く無い⇒甘口⇒甘日になったこと、など雑学にまで及びました、このような「気軽に質問できる雰囲気」が都学薬として大切なことだと感じました。ネズミ・ゴキブリについて、メーカーならではの中身の濃い講演でした。環境衛生は範囲が広く、学校からの問い合わせに適切な助言をするためにも研修を重ねることが大切と感じました。



学校環境衛生・薬事衛生研究協議会

野崎 京子

（薬物乱用防止・薬の正しい使い方委員会委員）

平成 27 年 11 月 12 日・13 日宮崎市シーガイアコンベンションセンターにて開催されました。

一日目は、開会式の後、講義Ⅰとして文部科学省健康教育調査官小出彰宏氏より「現代的な健康課題に対応した健康教育の考え方」について、講義Ⅱでは、兵庫教育大学大学院教授西岡伸紀氏より「薬物乱用防止教育：考え方と進め方」についてお話をいただきました。その後、東邦大学医学部教授水野雅文氏の特別講演「心の健康教育の必要性“うつ”を中心に」が行われました。

二日目の部会別分科会では、第 3 分科会喫煙・飲酒及び薬物乱用防止教育部会に参加しました。

研究主題は「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の進め方や当面する諸問題」で、二題の発表が行われました。

発表 1 は、兵庫県立尼崎稲園高等学校養護教諭赤井育代氏より、「定時制高校における薬物乱用防止教育の試み」と題し、赤井氏の前任校の一年間に渡る防止教育の取組について報告されました。

発表 2 では、公益社団法人福岡県薬剤師会常務理事田中洋介氏から、「田川薬剤師会における薬物乱用防止教室への取組と効果」について報告がありました。

今回は、「保健管理」「保健教育」の基本となっている法律・学習指導要領に関することや、ライフスキルを育成するための取組と具体的な方法について学ばせていただきました。本協議会の内容を今後の薬物乱用防止教室に活かしていきたいと思えます。

日本薬剤師会学術大会

井戸 久夫

平成 27 年 11 月 22～23 日桜島の噴煙が見える鹿児島市内で 6 会場に分かれ開催されました。全国から大勢の薬剤師会会員をはじめ関係者が参集したため、市内宿泊施設は満杯で近隣の宿泊施設すら取りにくい状況でした。前日到着便も満杯で、市内は移動する参加者であふれていました。各会場を結ぶシャトル便はありましたが、宿泊場所と移動時間の短縮のためタクシー利用となりました。

2 箇所に分かれたポスター・展示会場で新たな情報等に接しながら各ブースを巡り、メインテーマ「基礎から見直す学校薬剤師活動～目指すべき保健管理・保健教育～」の第 4 会場分科会 2 に移動しました。基調講演「学校薬剤師の現状とこれから展望」北垣邦彦講師（東京薬科大学）、調査報告「平成 26 年度全国学校保健調査集計結果について」豊見雅文講師（日本薬剤師会）、シンポジウム「地域協力体制による計画的学校薬剤師活動について」大森眞樹講師（熊本県薬剤師会）、「無薬局地域への学校薬剤師派遣の取り組み」長野慎治講師（鹿児島市薬剤師会）の各講演がありました。

2 日目は第 12 会場で、スポーツファーマシスト、アンチドーピング、薬物乱用防止に関する 6 演題と、学校薬剤師関係 11 演題の各口頭発表がありました。各地の学校薬剤師の活動を知ることが出来ました。今回は、多くの会場に分かれ、講演、セミナー、発表、展示とめまぐるしい大会でした。東京からも大勢の薬剤師が参加し、また懐かしい顔にも触れ、旧交を温めることも出来ました。多くの人達と食事や杯を交わし、話をする事が出

来、有意義な大会でした。是非会員の皆様も、このような集まりに参加されては如何でしょうか。

「黒じょか」で飲む焼酎もまた良い経験でした。

平成 27 年度 全国学校保健・安全研究大会

田中 恭子

平成 27 年 12 月 3 日（木）・4 日（金）愛媛県松山市のひめぎんホールで、標記大会が開催されました。一日目は全体会で、開会式のあと文部科学大臣表彰の表彰式が行われました。平成 27 年度は荒川支部の吉村富子先生並びに小石川支部の若菜茂二先生が学校保健・学校安全でのご功績が認められ表彰の栄に浴されました。続いて行われた記念講演は「子供たちの意思決定能力を育てるー健康教育とライフスキル教育のコラボレーション」と題し兵庫教育大学大学院の西岡伸紀教授のお話で、薬物乱用防止教室においてライフスキル教育が有効であることが詳しく説明されました。

二日目は、課題に基づいた提案、研究協議、指導助言及び講義を行うことを趣旨とした課題別研究協議会が 10 の課題に分かれて行われました。第 7 課題の喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育では、「危険ドラッグの蔓延から考える薬物乱用防止」と題した国立精神・神経医療研究センター依存性薬物研究室室長船田正彦氏の講義があり、最近の危険ドラッグ情報にはじまり種類や販売形態、そして薬物が示す快感が脳内報酬回路の存在によるものであること等、さらに健康教育の観点から意思決定スキル能力向上の重要性まで直接知る非常に貴重な機会となりました。その後 3 人の教諭による研究発表があり、各学校の取り組みで共通しているところは、参加経験型のグループワークを実践していることでした。また、学年ごとにテーマを決め、バランスの良い年間活動計画を作成し知識の習得だけでなく自己肯定感を高める素晴らしい実践をされていました。

新年賀詞交歓会

朝木 多貴子

平成 28 年 1 月 9 日（土）ホテルグランパシフィック LE DAIBA 二階「桜蘭」において多数の来賓と会員出席のもと、一般社団法人東京都学校薬剤師会新年賀詞交歓会が開催されました。

司会の田中恭子理事の開会の辞で、午後二時より始まりました。

井上会長より学校を取り巻く環境の変化について、・耐震工事に伴う照度の問題・冷暖房設置による換気不足など空気環境への指導・薬物、飲酒、喫煙についての講習の続行・PM2.5 等に関する勉強会など、教育委員会、学校保健会、賛助会員さんとの協力のもと活動していきたい旨、皆様の一層のご支援を頂きたい旨、挨拶がありました。

藤井基之参議院議員からは、祝電を頂戴致しました。前文部科学副大臣藤井先生は、昨年秋の自民党役員人事により、自民党政務調査会副会長並びに参議院自民党政策審議会副会長となられたこと。厚生労働省は全ての薬局を患者本位の「かかりつけ薬局」に再編するとして「患者のための薬局ビジョン」を公表し、薬物療法の安全性・有効性の向上や医療費の適正化に大きな期待を寄せて

いること。学校薬剤師の医薬品の正しい使い方に関する教育や薬物乱用防止の啓発活動は、大変大切な仕事であり、引き続き地域医療の充実や子供達の健全な成長のために活躍をお願いしたいこと等、年頭のご挨拶を頂きました。

また、東京都薬剤師会大木一正副会長、東京都教育庁地域教育支援部粉川貴司部長、東京都医師会学校医会正木忠明理事、東京都学校歯科医小島憲副会長、中川雅治参議院議員の挨拶の後、東京都教育庁の各課長、係長、都養護教諭研究会会長等その他の来賓の紹介があり、杉下順一郎顧問の乾杯の発声のもと懇親会が始まりました。来賓や会員の各テーブルには役員がそれぞれ分かれ、ゆったりと親しく和やかな談笑のなか交歓会は続き、井戸久夫理事の閉会の辞で終了しました。

これまでの配布物



支 部 長 会 報 告

平成27年12月2日、中央区立総合スポーツセンターにおいて支部長会が開催された。

議題

1. 平成27年度（平成27年4月1日～平成27年9月30日）中間活動報告
2. 平成27年度（平成27年4月1日～平成27年9月30日）中間会計報告
3. 出版物等の解説
 - (1) 学校環境衛生のしおり
 - (2) 薬物乱用防止教室CD「アキコとフユオの場合：危険ドラッグ編」
4. 協議

平成27年度 収支中間決算

自：平成27年4月1日 至：平成27年 9月30日

一般社団法人東京都学校薬剤師会

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 (予算ー決算)	備 考
収入の部				(下半期収入見込)
1、会 費	15,970,000	14,595,000	1,375,000	117,600
2、委託費収入	1,000	0	1,000	0
3、補助金収入	300,000	0	300,000	300,000
4、雑収入	255,000	19,646	235,354	78,000
収入合計	16,526,000	14,614,646	1,911,354	495,600
支出の部				(下半期支出見込)
1、事業費	3,790,000	1,969,041	1,820,959	810,000
2、管理費	6,466,000	2,915,539	3,550,461	3,038,000
3、会議費	1,600,000	562,780	1,037,220	734,000
4、支部運営費	4,503,000	4,056,900	446,100	35,280
5、積立金	50,000	0	50,000	50,000
6、法人税等	70,000	70,000	0	0
7、予備費	47,000	0	47,000	0
支出合計	16,526,000	9,574,260	6,951,740	4,667,280
収支差額	0	5,040,386	△ 5,040,386	△ 4,171,680

平成28年3月期収支見込額

収入総額(見込)	15,110,246
支出総額(見込)	14,241,540
差引額(見込)	868,706

今後の予定

平成 28 年 2 月 7 日	平成 27 年度薬物専門講師研修会	東京都庁第 1 本庁舎 5 階
平成 28 年 2 月 14 日	第 5 回学校環境衛生研究協議会	愛知県名古屋市東建ホール・丸の内
平成 28 年 2 月 18 日	第 14 回学校薬剤師基礎研修会	中央区総合スポーツセンター
平成 28 年 3 月 24 日	代議員会	全水道会館

ホームページを新しくしました

<http://www.togakuyaku.jp/>



一般社団法人東京都学校薬剤師会事務局

〒101-0054 千代田区神田錦町2-5 第一大隆ビル302
東京都学校薬剤師会へのご意見・お問合せは FAX でお願ひします
FAX: 03 (3518) 4708 TEL: 03 (3518) 4707